

図表2

K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110220	男性生殖器炎症性疾患	3	532	0.56%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	070230	膝関節症(変形性を含む。)	2	532	0.38%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	070550	褥瘡潰瘍	2	532	0.38%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	140430	腸管の先天異常	2	532	0.38%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110150	神経因性膀胱	2	532	0.38%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110180	尿道腫瘍	2	532	0.38%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110280	慢性腎炎・慢性腎不全	2	532	0.38%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	010050	非外傷性硬膜下血腫	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	010060	脳腫瘍	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	010220	糖尿病性疾患(アルツハイマーを除く。)	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	040200	気胸	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	090130	心不全	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	050163	非破綻性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	050170	閉塞性動脈疾患	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	060050	肝・胆管内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む。)	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	060065	肝外胆管の悪性腫瘍	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	060130	臍)	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	060160	鼠径ヘルニア	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	060300	肝硬変(胆汁性肝硬変を含む。)	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	060330	胆嚢疾患(胆嚢結石など)	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	070042	上肢等の皮膚の悪性腫瘍	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	070340	腎柱管狭窄(腎柱症を含む。)	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	100020	甲狀腺の悪性腫瘍	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	160160	敗血症その他の感染症	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	160800	股関節大腿近位骨折	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	160870	頸椎頸髄損傷	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	161060	詳細不明の損傷等	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110010	腎の悪性腫瘍	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110100	精巣腫瘍	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110110	上部尿路疾患(その他)	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110120	上部尿路結石症	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110290	急性腎不全	1	532	0.19%
K821	尿道	尿道狭窄内視鏡手術	D-2	110310	腎臓の感染症	1	532	0.19%
K822	尿道	女子尿道脱手術	C-1	110180	尿道腫瘍	14	17	82.95%
K822	尿道	女子尿道脱手術	C-1	110320	腎、膀胱の疾患(その他)	2	17	11.76%
K822	尿道	女子尿道脱手術	C-1	120090	生殖器脱出症	1	17	5.88%
K823-1	尿道	尿失禁手術 骨盤固定式膀胱頸部吊上術を行うもの	D-2	110190	尿失禁	17	24	70.83%
K823-1	尿道	尿失禁手術 恥骨固定式膀胱頸部吊上術を行うもの	D-2	120090	生殖器脱出症	6	24	25.00%
K823-1	尿道	尿失禁手術 恥骨固定式膀胱頸部吊上術を行うもの	D-2	120190	女性生殖器の炎症性疾患(その他)	1	24	4.17%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	110190	尿失禁	159	191	82.72%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	120090	生殖器脱出症	27	191	14.14%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	110320	腎、泌尿器の疾患(その他)	4	191	2.09%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	110140	膀胱尿管逆流症	1	191	0.52%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	110150	神経因性膀胱	1	191	0.52%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	110190	尿失禁	57	64	89.06%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	110150	神経因性膀胱	2	64	3.13%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	120090	生殖器脱出症	1	64	1.56%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	140580	先天性下部尿路疾患	1	64	1.56%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	110110	上部尿路疾患(その他)	1	64	1.56%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	110140	膀胱尿管逆流症	1	64	1.56%
K823-2	尿道	尿失禁手術 その他のもの	D-2	110320	腎、泌尿器の疾患(その他)	1	64	1.56%
K824	陰茎	陰茎尖圭コンジローム切除術	B-1	060250	尖圭コンジローム	24	30	80.00%
K824	陰茎	陰茎尖圭コンジローム切除術	B-1	110230	陰茎・包皮の疾患	2	30	6.67%
K824	陰茎	陰茎尖圭コンジローム切除術	B-1	120260	分娩の合併症、産科手術を伴う異常分娩	1	30	3.33%

図表2

K824	陰莖	陰莖尖圭コンジローム切除術	B-1	120270	妊娠、分娩、産褥に伴う病態	1	30	3.33%
K824	陰莖	陰莖尖圭コンジローム切除術	B-1	110040	性器の良性腫瘍(その他)	1	30	3.33%
K824	陰莖	陰莖尖圭コンジローム切除術	B-1	110090	陰莖の悪性腫瘍	1	30	3.33%
K826	陰莖	陰莖切断術	C-1	040110	副腎性前炎	1	7	14.29%
K826	陰莖	陰莖切断術	C-1	120240	尿及び外陰の非炎症性腫瘍	1	7	14.29%
K826	陰莖	陰莖切断術	C-1	140600	女性性器の先天性腫瘍	1	7	14.29%
K826	陰莖	陰莖切断術	C-1	150110	先天性陰莖奇形	1	7	14.29%
K826	陰莖	陰莖切断術	C-1	110090	陰莖の悪性腫瘍	1	7	14.29%
K826	陰莖	陰莖切断術	C-1	112230	陰莖・包皮の疾患	1	7	14.29%
K826	陰莖	陰莖切断術	C-1	112200	陰莖・包皮の疾患(その他)	1	7	14.29%
K826-2	陰莖	陰莖切断術	C-2	161050	その他の腫瘍	1	8	87.50%
K826-2	陰莖	陰莖切断術	C-2	110320	腎、副腎の疾患(その他)	1	8	12.50%
K8271	陰莖	陰莖癌性腫瘍手術 陰莖切除	C-1	110090	陰莖の悪性腫瘍	22	24	91.67%
K8271	陰莖	陰莖悪性腫瘍手術 陰莖切除	C-1	110040	性器の良性腫瘍(その他)	2	24	8.33%
K8272	陰莖	陰莖悪性腫瘍手術 陰莖全摘	D-3	110090	陰莖の悪性腫瘍	9	12	75.00%
K8272	陰莖	陰莖悪性腫瘍手術 陰莖全摘	D-3	070042	上肢等の皮膚の悪性腫瘍	1	12	8.33%
K8272	陰莖	陰莖悪性腫瘍手術 陰莖全摘	D-3	130030	非ホジキンリンパ腫	1	12	8.33%
K8272	陰莖	陰莖悪性腫瘍手術 陰莖全摘	D-3	110040	性器の良性腫瘍(その他)	1	12	8.33%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	112230	陰莖・包皮の疾患	159	198	78.29%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	140590	停留精巣	10	198	5.05%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	060160	鼠径ヘルニア	9	198	4.55%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	110240	陰嚢内疾患(悪性、炎症性疾患を除く。)	5	198	2.53%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	080180	母斑 母斑症	3	198	1.52%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	140580	先天性下部尿路疾患	3	198	1.52%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	110200	前立腺肥大症	3	198	1.52%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	140140	口瘡・口唇先天性疾患	2	198	1.01%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	030230	扁桃・アデノイドの慢性疾患	1	198	0.51%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	050060	心筋症	1	198	0.51%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	060170	閉塞 構造のない、腹腔のヘルニア	1	198	0.51%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	140210	先天性耳瘻孔、副耳	1	198	0.51%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	110070	陰嚢腫瘍	1	198	0.51%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	110080	前立腺の悪性腫瘍	1	198	0.51%
K8281	陰莖	包莖手術 背面前開術	B-1	110130	下部尿路結石症	1	198	0.51%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	112230	陰莖・包皮の疾患	205	271	75.65%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	060160	鼠径ヘルニア	8	271	2.95%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	140580	先天性下部尿路疾患	7	271	2.58%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	110240	陰嚢内疾患(悪性、炎症性疾患を除く。)	6	271	2.21%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	100070	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	4	271	1.48%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	110040	性器の良性腫瘍(その他)	4	271	1.48%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	140590	停留精巣	3	271	1.11%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	110070	陰嚢腫瘍	3	271	1.11%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	110200	前立腺肥大症	3	271	1.11%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	030230	扁桃・アデノイドの慢性疾患	2	271	0.74%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	110080	前立腺の悪性腫瘍	2	271	0.74%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	110120	上部尿路結石症	2	271	0.74%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	010170	基底核等の変性疾患	1	271	0.37%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	040200	気胸	1	271	0.37%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	060020	胃の悪性腫瘍	1	271	0.37%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	060040	直腸肛門(直S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	1	271	0.37%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	060250	尖圭コンジローム	1	271	0.37%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	060330	胆嚢疾患(胆嚢結石など)	1	271	0.37%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	060350	急性肝炎	1	271	0.37%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	070570	癩痕拘縮	1	271	0.37%
K8282	陰莖	包莖手術 環状切除術	B-3	100060	1型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	1	271	0.37%

図表2

K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	100120	肥満症	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	100393	その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	140140	口蓋・口唇先天性疾患	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	140260	胸郭の変形および先天異常	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	150050	急性脳炎急性脳症	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	160760	前腕の骨折	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	160800	股関節大腿近位骨折	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110100	精巣腫瘍	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110170	尿道狭窄	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110280	男性生殖器の障害	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110290	急性腎不全	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110320	腎、泌尿器の疾患(その他)	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110420	水腎症(その他)	1	271	0.37%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110200	加齢関連大症	3	9	33.33%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110220	急性生殖器炎症性疾患	3	9	33.33%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110080	加齢関連の悪性腫瘍	2	9	22.22%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	060100	小腸大腸の悪性腫瘍(良性腫瘍を含む)	1	9	11.11%
K8282	陰茎	包茎手術	環状切除術	B-3	110280	筋立腫瘍	202	303	66.67%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110220	男性生殖器炎症性疾患	15	303	4.95%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110240	陰嚢内疾患(悪性、炎症性疾患を除く。)	14	303	4.62%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110100	精巣腫瘍	9	303	2.97%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110040	性器の良性腫瘍(その他)	7	303	2.31%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	060160	鼠径ヘルニア	6	303	1.98%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	5	303	1.65%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	161050	その他の損傷	5	303	1.65%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110070	膀胱腫瘍	5	303	1.65%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110200	前立腺肥大症	4	303	1.32%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110320	腎、泌尿器の疾患(その他)	4	303	1.32%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	070040	骨軟部の悪性腫瘍(脊椎骨腫を除く。)	3	303	0.99%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	140590	停留精巣	3	303	0.99%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110250	男性生殖器の障害	3	303	0.99%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	010060	脳梗塞	2	303	0.66%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	2	303	0.66%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	140580	先天性下部尿路疾患	2	303	0.66%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110010	腎の悪性腫瘍	2	303	0.66%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	050170	閉塞性動脈疾患	1	303	0.33%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	060370	腹膜炎、腹腔内腫瘍(女性生殖器を除く。)	1	303	0.33%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	070140	腕性麻痺	1	303	0.33%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	070395	壊死性筋膜炎	1	303	0.33%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	140620	その他の先天異常	1	303	0.33%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	1	303	0.33%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110090	陰茎の悪性腫瘍	1	303	0.33%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110170	尿道狭窄	1	303	0.33%
K830	精管・精索	精巣(嚢丸)摘出術		B-3	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	1	303	0.33%
K830-21	精管・精索	精巣外傷手術	陰嚢内血腫除去術	C-1	161050	その他の腫瘍	2	17	41.18%
K830-21	精管・精索	精巣外傷手術	陰嚢内血腫除去術	C-1	160590	上肢の開放創	5	17	29.41%
K830-21	精管・精索	精巣外傷手術	陰嚢内血腫除去術	C-1	110320	腎、泌尿器の疾患(その他)	4	17	23.53%
K830-21	精管・精索	精巣外傷手術	陰嚢内血腫除去術	C-1	110240	陰嚢内疾患(悪性、炎症性疾患を除く。)	1	17	5.88%
K830-22	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術		C-2	161050	その他の腫瘍	2	2	100.00%
K831	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術		C-1	140590	停留精巣	34	44	77.27%
K831	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術		C-1	110100	精巣腫瘍	3	44	6.82%
K831	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術		C-1	060160	鼠径ヘルニア	1	44	2.27%
K831	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術		C-1	100290	泌尿器	1	44	2.27%

図表2

K831	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術	C-1	130111	アレ르기-性紫斑病	1	44	2.27%
K831	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術	C-1	140580	先天性下部尿路疾患	1	44	2.27%
K831	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術	C-1	110080	前立腺の悪性腫瘍	1	44	2.27%
K831	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術	C-1	110110	上部尿路疾患(その他)	1	44	2.27%
K831	精管・精索	停留精巣(嚢丸)摘出術	C-1	110240	陰嚢内疾患(悪性、炎症性疾患を除く。)	1	44	2.27%
K831-2	精管・精索	精嚢嚢嚢下腺摘出術	D-2	140590	停留精巣	6	12	66.67%
K831-2	精管・精索	精嚢嚢嚢下腺摘出術	D-2	140290	紗袋腫	2	12	16.67%
K831-2	精管・精索	精嚢嚢嚢下腺摘出術	D-2	140580	先天性下部尿路疾患	1	12	8.33%
K831-2	精管・精索	精嚢嚢嚢下腺摘出術	D-2	140620	その他の先天異常	1	12	8.33%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110220	男性生殖腺疾患(嚢性、炎症性疾患を除く。)	13	50	26.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110240	陰嚢内疾患(嚢性、炎症性疾患を除く。)	13	50	26.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110100	精嚢腫	6	50	12.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110040	性器の良性腫瘍(その他)	4	50	8.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110160	下部尿路の炎症	2	50	4.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110320	腎、泌尿器の疾患(その他)	2	50	4.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	060160	鼠径ヘルニア	1	50	2.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	070160	上肢末梢神経麻痺	1	50	2.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	160030	その他の新生物	1	50	2.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	160850	足関節・足部の骨折、脱臼	1	50	2.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	161050	その他の損傷	1	50	2.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110070	膀胱腫瘍	1	50	2.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110080	前立腺の悪性腫瘍	1	50	2.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110250	男性生殖器の障害	1	50	2.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	1	50	2.00%
K832	精管・精索	精巣上体(副嚢丸)摘出術	C-1	110420	水腎症(その他)	1	50	2.00%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	110100	精嚢腫	220	251	87.65%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	130030	非ホジキンリンパ腫	10	251	3.98%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	110040	性器の良性腫瘍(その他)	7	251	2.79%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	110080	前立腺の悪性腫瘍	3	251	1.20%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	070040	骨軟部の悪性腫瘍(脊椎骨髄を除く。)	2	251	0.80%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	010040	外の悪性腫瘍	1	251	0.40%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	040040	肺の悪性腫瘍	1	251	0.40%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	1	251	0.40%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	130040	多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	1	251	0.40%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	110070	膀胱腫瘍	1	251	0.40%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	110220	男性生殖腺疾患(嚢性疾患を除く。)	1	251	0.40%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	110240	陰嚢内疾患(悪性、炎症性疾患を除く。)	1	251	0.40%
K8331	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-1	110250	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	1	251	0.40%
K8332	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-3	110100	精嚢腫	5	7	71.43%
K8332	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-3	110250	精嚢腫	1	7	14.29%
K8332	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	D-3	110080	前立腺の悪性腫瘍	1	7	14.29%
K834	精管・精索	精索静脈摘出術	B-3	060160	鼠径ヘルニア	3	87	3.45%
K834	精管・精索	精索静脈摘出術	B-3	110250	男性生殖器の障害	1	87	1.15%
K834-2	精管・精索	腹腔鏡下内精索静脈結紮術	D-2	110240	陰嚢内疾患(嚢性、炎症性疾患を除く。)	27	29	93.10%
K834-2	精管・精索	腹腔鏡下内精索静脈結紮術	D-2	050340	その他の循環器の障害	1	29	3.45%
K8351	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	C-1	060160	鼠径ヘルニア	1	29	3.45%
K8351	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	C-1	110240	陰嚢内疾患(嚢性、炎症性疾患を除く。)	195	246	79.27%
K8351	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	C-1	060160	鼠径ヘルニア	34	246	13.82%
K8351	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	C-1	110250	男性生殖器の障害	3	246	1.22%
K8351	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	C-1	140030	周産期に発生した新生児の障害	2	246	0.81%
K8351	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	C-1	140580	先天性下部尿路疾患	2	246	0.81%
K8351	精管・精索	精嚢嚢嚢(嚢丸)高位精巣摘出術	C-1	161030	その他の損傷	2	246	0.81%

図表2

K8351	精管・精索	陰囊水腫手術	交通性陰囊水腫手術	C-1	040100	喘息	1	246	0.41%
K8351	精管・精索	陰囊水腫手術	交通性陰囊水腫手術	C-1	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	1	246	0.41%
K8351	精管・精索	陰囊水腫手術	交通性陰囊水腫手術	C-1	140080	脳、脊髄の先天異常	1	246	0.41%
K8351	精管・精索	陰囊水腫手術	交通性陰囊水腫手術	C-1	140110	鼻の異常(先天性・後天性)	1	246	0.41%
K8351	精管・精索	陰囊水腫手術	交通性陰囊水腫手術	C-1	140590	停留精巣	1	246	0.41%
K8351	精管・精索	陰囊水腫手術	交通性陰囊水腫手術	C-1	110040	性器の良性腫瘍(その他)	1	246	0.41%
K8351	精管・精索	陰囊水腫手術	交通性陰囊水腫手術	C-1	110070	膀胱腫瘍	1	246	0.41%
K8351	精管・精索	陰囊水腫手術	交通性陰囊水腫手術	C-1	110120	上部尿路結石症	1	246	0.41%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	110240	精管形成手術(精管形成症を除く)	272	301	75.62%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	060160	ヘルニア	59	361	14.66%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	161050	その他の損傷	9	361	2.49%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	110200	前立腺肥大症	6	361	1.66%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	110250	男性生殖器の腫瘍	5	361	1.39%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	140030	周産期に発生した新生児の腫瘍	4	361	1.11%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	140590	停留精巣	2	361	0.55%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	050210	徐脈性不整脈	1	361	0.28%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	060150	虫垂炎	1	361	0.28%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	060170	閉塞、瘻直のない腫腔のヘルニア	1	361	0.28%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	110040	性器の良性腫瘍(その他)	1	361	0.28%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	110070	膀胱腫瘍	1	361	0.28%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	110120	上部尿路結石症	1	361	0.28%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	110130	下部尿路結石症	1	361	0.28%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	110170	尿道狹窄	1	361	0.28%
K8352	精管・精索	精管形成手術	その他	B-3	110320	腎、泌尿器の疾患(その他)	1	361	0.28%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140590	停留精巣	520	663	79.34%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140590	先天性下部尿路疾患	94	663	14.16%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	110240	陰嚢内疾患(悪性、炎症性疾患を除く)	14	663	2.11%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	060160	鼠径ヘルニア	12	663	1.81%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140030	周産期に発生した新生児の腫瘍	2	663	0.30%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	110220	男性生殖器炎症性疾患	2	663	0.30%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	030430	滲出性中耳炎、耳管閉塞	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	060130	患)	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	130020	ホジキン病	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140140	口蓋・口唇先天性疾患	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140260	胸部の變形および先天異常	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140440	肛門閉鎖	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140480	先天性腹壁異常	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140530	先天性趾指異常	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	140620	その他の先天異常	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	160280	血友病	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	161060	肢端不萌の損傷等	1	663	0.15%
K836	精管・精索	停留精巣(嚢丸)固定術	その他	C-2	110100	精巣腫瘍	1	663	0.15%
K837	精管・精索	精管形成手術	精管形成手術	C-1	110250	男性生殖器の腫瘍	18	20	90.00%
K837	精管・精索	精管形成手術	精管形成手術	C-1	140580	先天性下部尿路疾患	1	20	5.00%
K837	精管・精索	精管形成手術	精管形成手術	C-1	110240	陰嚢内疾患(悪性、炎症性疾患を除く)	1	20	5.00%
K8381	精管・精索	精索捻転手術	対側の精巣固定術を伴うもの	C-1	140590	停留精巣	2	41	4.86%
K8381	精管・精索	精索捻転手術	対側の精巣固定術を伴うもの	C-1	140580	先天性下部尿路疾患	1	41	2.44%
K8381	精管・精索	精索捻転手術	対側の精巣固定術を伴うもの	C-1	110200	前立腺肥大症	1	41	2.44%
K8382	精管・精索	精索捻転手術	その他のもの	C-1	110240	陰嚢内疾患(嚢嚢、炎症性疾患を除く)	35	36	97.22%
K8382	精管・精索	精索捻転手術	その他のもの	C-1	110220	男性生殖器炎症性疾患	1	36	2.78%
K839	前立腺	前立腺腫切開術	その他のもの	B-3	110220	男性生殖器炎症性疾患	2	3	66.67%
K839	前立腺	前立腺腫切開術	その他のもの	B-3	110250	男性生殖器の腫瘍	1	3	33.33%

図表2

K840	前立腺	前立腺被膜下摘出術	C-3	110200	前立腺腫大症	100	108	94.34%
K840	前立腺	前立腺被膜下摘出術	C-3	110080	前立腺の悪性腫瘍	3	106	2.83%
K840	前立腺	前立腺被膜下摘出術	C-3	060040	直腸肛門(直S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	1	106	0.94%
K840	前立腺	前立腺被膜下摘出術	C-3	100190	褐色細胞腫、パラカングリオーマ	1	106	0.94%
K840	前立腺	前立腺被膜下摘出術	C-3	110320	腎、泌尿器の疾患(その他)	1	106	0.94%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110200	前立腺腫大症	1886	2109	89.45%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110080	前立腺の悪性腫瘍	115	2109	5.45%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110320	腎、泌尿器の疾患(その他)	22	2109	1.04%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110070	膀胱腫瘍	21	2109	1.00%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110130	下部尿路結石症	10	2109	0.47%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110170	尿道狹窄	9	2109	0.43%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110150	神経因性膀胱	4	2109	0.19%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	3	2109	0.14%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	050130	心不全	2	2109	0.09%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	060160	風疹ヘルニア	2	2109	0.09%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	070350	椎間板変性、ヘルニア	2	2109	0.09%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110040	性器の良性腫瘍(その他)	2	2109	0.09%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110120	上部尿路結石症	2	2109	0.09%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110220	男性生殖器炎症性疾患	2	2109	0.09%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110290	急性腎不全	2	2109	0.09%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110420	水腎症(その他)	2	2109	0.09%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	010040	外)	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	020110	白内障、水晶体の疾患	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	040040	肺の悪性腫瘍	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	040120	慢性閉塞性肺疾患	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	050170	閉塞性動脈疾患	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	060010	食道の悪性腫瘍(頸部を含む。)	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	060035	大腸(上行結腸からS状結腸)の悪性腫瘍	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	060040	直腸肛門(直S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	060235	痔瘻	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	060330	胆嚢疾患(胆嚢結石など)	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	070040	骨軟部の悪性腫瘍(脊椎骨腫を除く。)	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	070340	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	070560	全身性臓器障害を伴う自己免疫性疾患	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	130060	骨髄異形成症候群	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	130080	貧血(その他)	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	160160	播種性血管内凝固症候群	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110010	敗血症その他の感染症	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110060	腎の悪性腫瘍	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110160	腎盂・尿管の炎症	1	2109	0.05%
K841	前立腺	経尿道的前立腺手術	D-3	110310	腎臓の感染症	1	2109	0.05%
K841-2	前立腺	経尿道的レーザー前立腺切除術	D-2	110200	前立腺腫大症	152	157	96.82%
K841-2	前立腺	経尿道的レーザー前立腺切除術	D-2	110080	前立腺の悪性腫瘍	5	157	3.18%
K841-2	前立腺	経尿道的前立腺高周波治療(二重につま)	D-2	110080	前立腺の悪性腫瘍	6	11	72.73%
K841-3	前立腺	経尿道的前立腺高周波治療(二重につま)	D-2	110200	前立腺腫大症	3	11	27.27%
K842	前立腺	精囊全摘術	D-1	060370	腫瘍・前立腺内腫瘍(女性生殖器を除く。)	1	2	50.00%
K842	前立腺	精囊全摘術	D-1	110080	前立腺の悪性腫瘍	1	2	50.00%
K843	前立腺	前立腺精囊悪性腫瘍手術	D-3	110080	前立腺の悪性腫瘍	1562	1576	99.11%
K843	前立腺	前立腺精囊悪性腫瘍手術	D-3	060040	直腸肛門(直S状結腸から肛門)の悪性腫瘍	4	1576	0.25%
K843	前立腺	前立腺精囊悪性腫瘍手術	D-3	050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	1	1576	0.06%
K843	前立腺	前立腺精囊悪性腫瘍手術	D-3	050163	非破裂性大動脈瘤、腸骨動脈瘤	1	1576	0.06%

図表2

K843	前立腺	前立腺精嚢悪性腫瘍手術	D-3	060030	小腸の悪性腫瘍	1	1576	0.06%
K843	前立腺	前立腺精嚢悪性腫瘍手術	D-3	060340	胆管(肝内外)結石	1	1576	0.06%
K843	前立腺	前立腺精嚢悪性腫瘍手術	D-3	110010	腎の悪性腫瘍	1	1576	0.06%
K843	前立腺	前立腺精嚢悪性腫瘍手術	D-3	110040	性器の良性腫瘍(その他)	1	1576	0.06%
K843	前立腺	前立腺精嚢悪性腫瘍手術	D-3	110060	腎盂・尿管の悪性腫瘍	1	1576	0.06%
K843	前立腺	前立腺精嚢悪性腫瘍手術	D-3	110070	膀胱腫瘍	1	1576	0.06%
K843	前立腺	前立腺精嚢悪性腫瘍手術	D-3	110200	前立腺肥大症	1	1576	0.06%
K843	前立腺	前立腺精嚢悪性腫瘍手術	D-3	110220	男性生殖器炎症性疾患	1	1576	0.06%

診断群分類を活用した医療サービスのコスト推計に関する研究報告

(H16-政策-027)

D P C 導入の地域医療体制への影響の分析に関する研究

分担研究者	開原 成允	(国際医療福祉大学)
研究協力者	高橋 泰	(国際医療福祉大学)
	外山 比南子	(国際医療福祉大学)
	山田 康夫	(国際医療福祉大学)
	山本 康弘	(国際医療福祉大学)
	磯 伸彦	(国際医療福祉大学)
	黒田 史博	(国際医療福祉大学)

研究要旨：主に民間病院から組織されている DPC 病院協議会(参加病院 60、データ提出病院 39)に集められたデータを用いて、情報化とデータ精度の関係、季節変動、高額診療費の動向、クリティカルパスの運用状況を調査研究した。2004 年 7 月から 2006 年 12 月までに集められたデータ総数は 27 万 6 千件(様式 1)、DPC 対象データは 11 万 3 千件だった。全病院の平均在院日数は、様式 1 から算出した場合、16.7 日、DPC 対象データでは 11.2 日だった。入院時平均年齢は、それぞれ 55.2 歳、54.7 歳と差はなかった。DPC 対象患者の平均在院日数を 2004 年度と 2005 年度で比較した結果、どちらも 11.2 日で変化していなかった。入院期間別患者数は、2004 年度入院期間 I,II,III,期間外がそれぞれ、40.1%、42.2%、14.9%、2.8%だったのに対し、2005 年度は、39.8%、43.0%、14.5%、2.7%と入院期間 II が少し多くなる傾向にあった。1 週間以内の再入院率では、全病院の全疾患における平均が 2004 年度 0.76%、2005 年度 0.58%と減少していたが、病院や疾患によっては数十%と非常に高いものがあった。2 週間以内、1 ヶ月以内の再入院では、2005 年度は 2004 年度に比べていずれも低くなっていた。入院目的は、検査及び教育入院が 8%、加療のための入院が 88.1%、計画された繰り返し短期入院は 3.9%だった。DPC 分類で、最も患者数の多い分類は 0500501xxxxxxx 狭心症の検査入院、2 番目が 0400803199x00x (肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎 (6 歳未満) 手術なし 手術・処置等 2 なし 副傷病なし) 3 番目も同じ肺炎で、04008030xxx00x (同上 6 歳以上) であった。上位 40 分類が占める割合は、35%、その中に肺炎 040080 は 4 分類有り、最も患者数が多い。次に患者数が多い疾病は、白内障 020110 で、40 分類の中に 3 分類含まれている。癌では、肺癌 0400403x99x20x が最も上位に入り、卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍 1200103x99x10x、乳房の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2 あり 0900103x99x1xx となっている。

電子カルテシステム導入率はまだ全国で 6%に満たないが、DPC 対象病院では 39%と、DPC

参加が電子化を推進していると考えられる。協議会データ提出病院の中で DPC 対象病院と調査協力病院の情報システム導入率は、レセ電算は両者共に 100%、オーダーリング 100, 86%、電子カルテがそれぞれ 65, 59%であった。情報化とデータ精度には明らかな関係は見られなかった。データ精度は、重症度の記入率、様式 1 の内容と DPC コーディングの一致率、出来高と包括点数との相関関係などから推定した。重症度の無記入率は、NYHA が最も低く、17.8%で、KILLIP,CCS,急性膵炎がそれぞれ、19.7%、20.8%、28%であった。病院によるばらつきが大きく、全く記入がない病院や 100%記入されている病院もあった。出来高総点数を E,F ファイルからそれぞれ求め、X-Y 軸にプロットしてその相関を見たところ、病院によっては、 $Y=X$ から大幅にずれた点が現れる場合があることが解った。その症例を取り出して詳細にチェックすると、円と点が間違っていたり、基本料の算定が抜けていたりするものがあった。これらの多くは、マスタ表の整備が不十分と思われた。現時点では、情報化が必ずしもデータ精度を高めることに寄与していないことが解り、今後、情報システムが、データ間のクロスチェックなどを自動的に行って、入力すべきものが入っているか、データ間に矛盾がないかなどのチェックを行っていくように、ベンダーに働きかけていきたい。

MDC 05 の循環器疾患で、冬期(12月から3月)と夏期(7月から10月)の包括払い総点数と従来の出来高払い総点数の差を見ると、0501303x99000x (心不全 手術なし 手術・処置等 1なし 手術・処置等 2なし 副傷病なし)と 0502103x9701xx (徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等 1なし 手術・処置等 2あり)において、有意に夏期の方の差が大きかった。在院日数では、夏期と冬期で有意な差は見られなかった。

診療点数が高額になると、包括払いでは赤字になる傾向があるのではないかという、会員からの申し出があり、高額診療費について調査することにした。出来高診療総点数に対して、包括—出来高総点数の平均値を見ていくと、出来高点数が 50 万点を超えると差の平均値が負になることが示された。50 万 1 点以上の患者数は、全体の 0.25%、該当する診療点数総額の全身量点数に占める割合は包括払いの場合 2.85%、出来高払いの場合、3.3%であった。入院期間毎に、包括—出来高が負になる患者数の割合は、入院期間 I,II,III,期間外がそれぞれ、27.3%、26.6%、33.9%、66.0%と、期間外になると急速増加することが解った。それぞれの期間の点数に占める割合は、6.7%、12.0%、9.8%、3.8%だった。これを DPC 分類個別に見ていくと、20 万点以下でも包括—出来高が負になるものもある。たとえば、0400403x99x20x (肺の悪性腫瘍 手術なし 手術・処置等 2あり 副傷病なし) の例では、全症例数 1507 の内、入院期間 I,II,III,期間外の患者数は、668, 643, 182, 14 例で、それぞれの、1.3%、9.5%、12.1%、28.6%において包括—出来高が負になっている。負になった額のそれぞれの入院期間に占める点数の割合は、2.4, 13.1, 15.5, 34.7%であった。一方、0601003x03xx0x (小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。) 内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・粘膜切除術等 副傷病なし。) では、全症例数 1081 の内、入院期間 I,II,III,期間外の患者数は、556, 386, 87, 52 例で、それぞれの、45.3%、55.2%、

64.4%、88.5%において包括一出来高が負になっている。負になった額のそれぞれの入院期間に占める点数の割合は、47.9%、58.3%、67.2%、91.8%であった。このように、DPC分類によって、入院期間が長くなるにつれて、出来高との乖離が大きくなるものがある。これらの例については、詳細な診療内容を検討しなくてはならない。

DPC診断群毎のパス実施率を調査した。パス実施率の最も高いDPC診断群分類は、「鼠径ヘルニア（15歳以上）」となりパス実施病院24施設(72.7%)に対し、パス未実施病院9施設(27.3%)となった。「白内障、水晶体の疾患」及び「狭心症、慢性虚血性心疾患（検査入院）」はパス実施病院21施設(63.6%)、「前立腺の悪性腫瘍（検査入院）」は17病院(51.5%)と続き、これら4疾患は調査対象医療機関の過半数の施設がパスを導入していた。

また、病床規模別3群に層別化されたパス実施件数(mean±SD)は、500床以上病院群が最も実施率が高く10.1±2.6件となり、200床以上500床未満病院群6.0±3.8件、200床未満病院群1.4±1.4件となった。病床規模が大きくなるにつれパス実施件数も高値が示され、病床規模に応じた有意な差が認められた。(Mann-WhitneyのU検定, $p<0.01$)

分担研究報告書

平成 18 年度 DPC におけるアウトライヤーに関する調査

分担研究者 竹田 秀 (特定非営利活動法人 VHJ 機構 理事)

研究要旨および調査目的

「診断群分類による入院医療の包括評価制度 (DPC)」をアウトライヤーを調査することにより、診断群分類の妥当性や病院特性などを検証する。

調査方法

DPC 包括評価導入の影響評価に係る調査 (7 月から 10 月退院患者調査) と同一の資料を分析して、定義に基づいたアウトライヤー症例を抽出した。また、調査データ入力システムを作成してアウトライヤーの発生理由を調査した。

調査対象病院

特定非営利活動法人 VHJ 機構の会員である病院のうち、DPC 対象病院 22、DPC 準備病院 2、合計 24 病院。

アウトライヤー区分

表 1 (アウトライヤーを表 1 に従って区分した結果は表 8 にまとめている。)

調査結果

1. アウトライヤー発生率

(1) 施設別のアウトライヤー発生 (表 2)

全施設	DPC 適用退院症例数	84,788
	アウトライヤー症例数	27,737
	アウトライヤー発生率	32.7%

アウトライヤー発生率の最も高い施設は、43.4%、最も低い施設は 27%であった。発生率の分布を見てみると、42~44% 2 施設、32%~38% 14 施設、27%~31% 7 施設と 3 種類に区分が可能であり、施設の特徴があるものと思われる。

(2) MDC 別のアウトライヤー発生 (表 3)

MDC 別のアウトライヤー発生を見ると、

アウトライヤー症例数では、MDC06、05、04、16が多く、MDC08、09、が少くない。また、アウトライヤー発生率をみると、MDC13、15、05、04が多く、MDC02、12、03が少くない。各症例を精密に分析して診療内容を追跡している。

2. 入院期間によるアウトライヤーについて

(1) 入院期間によって区分されたアウトライヤーは表 4 の通りである。

(2) 表 4 の症例を MDC 別に整理したのが表 5 である。

表で期間Ⅱ、Ⅲに区分された 7,764 例は点数比がアウトライヤーで入院期間はインライヤーの症例であり、個別症例にまで辿って分析する必要がある。

3. 点数比によるアウトライヤーについて

(1) 点数比によるアウトライヤーの分布は表 6 の通りである。

(2) 表 6 の症例を MDC 別に再掲したのが表 7 である。

表 7 で点数による区分 0.7~1.3 の範囲にある 13,960 例は入院期間がアウトライヤーであるが、点数比はインライヤーである。

これらの症例は DPC の仕組みとの関係で興味がある症例といえよう。

また、1.3 超、0.7 未満の症例は、診療の濃淡、症例の重症度などとの関連が窺える。

今後精確に分析をしたいと考えている。

表1. アウト라이어区分

		入 院 期 間			
		期間 I (入院期間 I 未満)	期間 II	期間 III	期間 IV (特定入院期間超)
		点 数 比	1.3超	5	3
	0.7~1.3	1		2	
	0.7未満	6	4	8	

表2. 施設別アウトライヤー発生率

施設名	DPC適用退院症例数	アウトライヤー症例数	アウトライヤー発生率
施設A	4,583	1,576	34.4%
施設B	2,633	966	36.7%
施設C	4,040	1,425	35.3%
施設D	3,793	1,269	33.5%
施設E	5,633	1,857	33.0%
施設F	2,306	710	30.8%
施設G	5,806	1,677	28.9%
施設H	2,890	963	33.3%
施設I	2,460	688	28.0%
施設J	9,584	3,109	32.4%
施設K	5,327	1,439	27.0%
施設L	5,245	1,750	33.4%
施設M	2,359	770	32.6%
施設N	3,847	1,381	35.9%
施設O	1,364	393	28.8%
施設P	1,772	648	36.6%
施設Q	3,755	1,395	37.2%
施設R	4,173	1,217	29.2%
施設S	3,691	1,072	29.0%
施設T	2,518	748	29.7%
施設U	1,151	499	43.4%
施設V	2,592	1,101	42.5%
施設W	2,081	705	33.9%
施設X	1,185	379	32.0%
全施設	84,788	27,737	32.7%

表3. MDC別アウトライヤー発生率

MDC	DPC適用退院症例数	アウトライヤー症例数	アウトライヤー発生率
01	6,144	2,200	35.8%
02	3,135	556	17.7%
03	3,687	855	23.2%
04	8,763	3,522	40.2%
05	8,660	3,612	41.7%
06	18,588	5,929	31.9%
07	3,736	1,340	35.9%
08	871	244	28.0%
09	1,026	274	26.7%
10	2,598	802	30.9%
11	6,287	2,196	34.9%
12	6,384	1,220	19.1%
13	1,923	900	46.8%
14	2,429	679	28.0%
15	1,342	575	42.8%
16	9,215	2,833	30.7%
全施設	84,788	27,737	32.7%

表4. 入院期間別アウトライヤー症例数、アウトライヤー発生率、構成比率

	入院期間による区分				全期間アウトライヤー合計
	期間 I	期間 II・III	期間IV	期間 I +期間IV	
アウトライヤー症例数	15,248	(7,764)	4,725	19,973	27,737
アウトライヤー発生率	18.0%	(9.2%)	5.6%	23.6%	32.7%
構成比率	55.0%	(28.0%)	17.0%	72.0%	100.0%

入院期間別施設別アウトライヤー症例数

施設名	入院期間による区分				全期間アウトライヤー合計
	期間 I	期間 II・III	期間IV	期間 I +期間IV	
施設A	1,060	(376)	140	1,200	1,576
施設B	541	(270)	155	696	966
施設C	730	(375)	320	1,050	1,425
施設D	684	(453)	132	816	1,269
施設E	895	(536)	426	1,321	1,857
施設F	351	(204)	155	506	710
施設G	1,156	(311)	210	1,366	1,677
施設H	521	(309)	133	654	963
施設I	344	(237)	107	451	688
施設J	2,006	(702)	401	2,407	3,109
施設K	640	(419)	380	1,020	1,439
施設L	851	(541)	358	1,209	1,750
施設M	430	(183)	157	587	770
施設N	793	(410)	178	971	1,381
施設O	217	(115)	61	278	393
施設P	251	(284)	113	364	648
施設Q	825	(379)	191	1,016	1,395
施設R	394	(591)	232	626	1,217
施設S	624	(291)	157	781	1,072
施設T	436	(202)	110	546	748
施設U	244	(107)	148	392	499
施設V	766	(228)	107	873	1,101
施設W	302	(173)	230	532	705
施設X	187	(68)	124	311	379
施設全体	15,248	(7,764)	4,725	19,973	27,737

表5. 入院期間別MDC別アウトライヤー症例数

MDC	入院期間による区分				全期間アウトライ ヤー合計
	期間 I	期間 II・III	期間IV	期間 I +期間IV	
01	949	(786)	465	1,414	2,200
02	377	(19)	160	537	556
03	490	(240)	125	615	855
04	1,779	(1,155)	588	2,367	3,522
05	1,816	(1,417)	379	2,195	3,612
06	3,354	(1,434)	1,141	4,495	5,929
07	937	(223)	180	1,117	1,340
08	121	(53)	70	191	244
09	149	(80)	45	194	274
10	486	(190)	126	612	802
11	1,359	(443)	394	1,753	2,196
12	622	(385)	213	835	1,220
13	317	(403)	180	497	900
14	459	(138)	82	541	679
15	206	(275)	94	300	575
16	1,827	(523)	483	2,310	2,833
MDC全体	15,248	(7,764)	4,725	19,973	27,737

表6. 点数比別アウトライヤー症例数、アウトライヤー発生率、構成比率

	点数比による区分				全点数比 アウトライヤー 合計
	0.7未満	0.7～1.3	1.3超	0.7未満 +1.3超	
アウトライヤー症例数	1,885	(13,960)	11,892	13,777	27,737
アウトライヤー発生率	2.2%	(16.5%)	14.0%	16.2%	32.7%
構成比率	6.8%	(50.3%)	42.9%	49.7%	100.0%

点数比別施設別アウトライヤー症例数

施設名	点数比による区分				全点数比 アウトライヤー 合計
	0.7未満	0.7～1.3	1.3超	0.7未満 +1.3超	
施設A	188	(784)	604	792	1,576
施設B	72	(456)	438	510	966
施設C	70	(775)	580	650	1,425
施設D	145	(555)	569	714	1,269
施設E	108	(921)	828	936	1,857
施設F	48	(390)	272	320	710
施設G	149	(908)	620	769	1,677
施設H	107	(466)	390	497	963
施設I	16	(284)	388	404	688
施設J	246	(1,802)	1,061	1,307	3,109
施設K	141	(760)	538	679	1,439
施設L	113	(814)	823	936	1,750
施設M	5	(396)	369	374	770
施設N	78	(601)	702	780	1,381
施設O	12	(191)	190	202	393
施設P	32	(280)	336	368	648
施設Q	41	(736)	618	659	1,395
施設R	70	(444)	703	773	1,217
施設S	54	(534)	484	538	1,072
施設T	23	(425)	300	323	748
施設U	36	(287)	176	212	499
施設V	27	(513)	561	588	1,101
施設W	52	(377)	276	328	705
施設X	52	(261)	66	118	379
施設全体	1,885	(13,960)	11,892	13,777	27,737

表7. 点数比別MDC別アウトライヤー症例数

MDC	点数比による区分				全点数比 アウトライヤー 合計
	0.7未満	0.7～1.3	1.3超	0.7未満 +1.3超	
01	106	(940)	1,154	1,260	2,200
02	11	(502)	43	54	556
03	42	(487)	326	368	855
04	225	(1,520)	1,777	2,002	3,522
05	269	(1,447)	1,896	2,165	3,612
06	484	(3,294)	2,151	2,635	5,929
07	52	(839)	449	501	1,340
08	6	(134)	104	110	244
09	19	(150)	105	124	274
10	38	(431)	333	371	802
11	119	(1,192)	885	1,004	2,196
12	142	(583)	495	637	1,220
13	151	(279)	470	621	900
14	46	(363)	270	316	679
15	42	(177)	356	398	575
16	133	(1,622)	1,078	1,211	2,833
MDC全体	1,885	(13,960)	11,892	13,777	27,737

表8. アウトライヤー8区分別アウトライヤー症例数、発生率、構成比率

アウトライヤー区分	アウトライヤー 件数	アウトライヤー 発生率	構成比率
区分1:入院期間(日) I 未満の症例	9,873	11.6%	35.6%
区分2:特定入院期間(日)を超えた症例	4,087	4.8%	14.7%
区分3:包括点数/出来高点数比 1.3を超えた症例	6,806	8.0%	24.5%
区分4:包括点数/出来高点数比 0.7未満の症例	958	1.1%	3.5%
区分5:入院期間(日) I 未満かつ 包括点数/出来高点数比1.3を超えた症例	4,594	5.4%	16.6%
区分6:入院期間(日) I 未満かつ 包括点数/出来高点数比0.7未満の症例	781	0.9%	2.8%
区分7:特定入院期間(日)を超えかつ 包括点数/出来高点数比1.3を超えた症例	492	0.6%	1.8%
区分8:特定入院期間(日)を超えかつ 包括点数/出来高点数比0.7未満の症例	146	0.2%	0.5%
計	27,737	32.7%	100.0%

DPC に対応した審査システムの開発に関する研究

分担研究者 吉田 英機 昭和大学医学部泌尿器科学教室 教授
研究協力者 富士 幸蔵 昭和大学医学部泌尿器科学教室 助教授
杉原 弘晃 昭和大学医学部泌尿器科学教室 兼任講師
井原 裕宣 杏林大学医学部総合医療学講座 非常勤講師

A 研究目的

診断群分類（DPC）による診療報酬包括評価は平成 15 年度より導入され、平成 16 年度に第 1 回目の見直しが行われ、平成 18 年度には診療報酬改定に伴い 2 度目の見直しがなされて現在に至っている。DPC 自体は二度の見直しにより、より簡略化・精緻化されている。

一方、DPC による診療報酬請求を行っている医療機関数は当初の特定機能病院等 82 施設から、現在は 460 余施設に増加している。それに伴い、DPC 診療報酬明細書（以下、DPC レセプト）による診療報酬請求が増加している。しかし、DPC 自体や DPC による診療報酬請求システムに比し、審査システムに関する研究・開発は DPC 開始当初から立ち後れた感があり、未だ明確な変革がなされていないのが実情である。医療費の適正配分だけでなく、適切かつ十分な医療が国民に提供されているか否かのチェックという意味からも、診療報酬の審査・監査システムは必要不可

欠なものであり、DPC に対応した審査システムの構築が急務である。

そこで我々は、DPC による包括評価で診療報酬算定を行っている医療機関（以下、DPC 病院）から社会保険診療報酬支払基金に提出された実際の DPC レセプトを分析し、DPC による診療報酬請求上の不備や問題点を検討した。さらに、これらの不備や問題点が発生する DPC 病院側の要因を調査するために、DPC 病院における DPC 決定および確認プロセスを実地調査すると共に、DPC 病院の病院情報システム調査とそのベンダー毎の問題点抽出をアンケート調査により行った。

また、現在の DPC レセプト審査の実情把握を目的として、DPC レセプトを実際に審査している社会保険診療報酬支払基金審査員に対しても、DPC 理解度や DPC レセプト審査に関する意見をアンケート形式およびインタビュー形式で調査した。これらの結果を踏まえて、現状の紙ベースの DPC レセプトにおける審査システムと、

電子レセプトを基本とするいわば次世代の審査システムに関して考察した。

B 研究方法

① DPC レセプトの検証

社会保険診療報酬支払基金において、返戻や査定の対象となったDPCレセプトを対象として、その問題点を分析した。

尚、個人情報保護の観点から患者や当該施設が同定しうる情報を削除したレセプトを用い検証を行った。

② DPC 病院に対する調査

平成 17 年 6 月現在の DPC 病院 144 施設 (DPC 対象病院である 82 施設および試行的適用病院 62 施設) を対象にアンケート調査を行った。調査期間は平成 17 年 6 月 1 日～20 日とし、調査項目は 1)レセプト電算処理システムの導入状況、2)DPC オーダーシステムの導入状況、3)医事システムの状況 4)DPC レセプトのチェック方法、5)DPC レセプトの審査 (返戻・査定) 状況、6)審査マニュアルの必要性とした。なお、集計に際しシステムに関する問題はベンダー毎に集計した。

また、DPC 対象病院である大学附属病院 2 施設と、試行的適用病院である国立病院 1 施設および民間病院 4 施設を視察し、DPC 決定・確認プロセス、DPC レセプト作成プロセスと病院情報システムの実情を視察した。

③ 社会保険診療報酬支払基金に対する調査

3 ケ所の社会保険診療報酬支払基金の協力を得て、審査委員会の審査委員 307

名を対象に平成 17 年 10 月 15 日～21 日の期間に無記名式アンケート調査を行った。

調査項目は 1)審査委員の DPC 理解度、2)DPC レセプトの問題点、3)DPC レセプトの審査状況 4)審査マニュアルの必要性とした。尚、この 3 審査委員会を合計すると、一ヶ月に計 38 病院 (全 DPC 病院の 26.4%) から提出される平均 24,700 枚の DPC レセプトを審査していた。

また、DPC レセプト審査の現状調査のため、担当圏内に DPC 病院が多数存在し、電子レセプトも受理している社会保険診療報酬支払基金での審査状況を視察した。

④ 海外の審査方法調査

海外における診断群分類包括支払い制度 (DRG/PPS) での審査システムを調査・検討した。

特に、米国 (カリフォルニア州) の PRO およびフランス保健省 (Ministere de la Sante)、全国被用者疾病金庫 (CNAMTS)、イルドフランス地方疾病金庫 (CRAMIF) に関しては訪問調査も行った。

C 研究結果

① DPC レセプトの検証

返戻や査定対象となった DPC レセプトの不備・問題点は大きく別ると、(1) 医事会計システム自体の問題および入力ミス、(2) DPC 決定時の問題の 2 点に集約された。必須記載事項の記入漏れ、ICD-10 に則っていない傷病名の使用、退院時調整や点数計算の誤り等に代表されるような単純な事務的ミスから、いわゆる up-coding とされる診断群誤選択や同日の退院・再